

4 地域の移動特性・ニーズ

当地域における移動特性やニーズを把握することを目的に実施した「住民アンケート調査」、「バス乗降調査」及び「来訪者Webアンケート調査」の結果概要を以下に示します。なお、詳細な調査結果は別添の「各種アンケート等ニーズ調査編」のとおりです。

4.1 住民アンケート調査

(1) 目的

住民の日頃の交通行動や公共交通に対する要望・課題を把握するため、当地域に居住する12,470世帯を対象として、郵送によるアンケート調査を実施しました。

(2) 実施概要

実施の内容は下表のとおりです。

表 4-1 住民アンケート調査の実施概要

調査対象	日高管内に居住する世帯
調査期間	2022（令和4）年9月30日(金)～10月16日(日)
配布数	12,470世帯(うち、宛先不明による返送130世帯)
回収数(回収率)	2,537世帯(回収率20.3%) ※白紙回答5件を含む 4,706人の方が回答(1.85人/世帯)
配布・回収方法	郵送配布・郵送もしくはWeb回答による回収

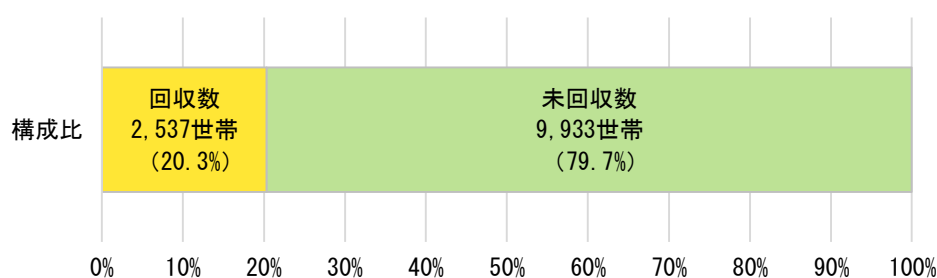


図 4-1 アンケート回収の状況



(3) 結果概要

質問	結果概要
基本属性	
①居住地域	・「新ひだか町（静内地区）」が2割強
②最寄りのバス停は歩いて行こうと思う場所にあるか	・「ある」が7割強
③回答者の同居家族の人数、年齢構成	・同居家族は「2人」が5割、年齢構成は「65歳以上」が4割弱
④回答者の年齢	・「65歳以上」が6割
⑤回答者の性別	・「男」「女」がほぼ半分ずつ
⑥運転免許の所持状況	・「持っている」が7割強
移動の状況	
⑦普段運転できる車を持っているか	・「持っている」が9割強
⑧何歳まで自分で運転したいか	・「75～84歳」が6割
⑨運転が困難になった場合の移動手段	・「バス等を利用する」が5割弱
⑩運転に不安を持つときがあるか	・「冬や長距離運転が不安」が5割弱
⑪運転時に感じる不安の内容	・「冬と長距離両方の運転が不安」が5割強
⑫事故を回避できる自信	・「自信がある」が4割強
⑬免許返納の特典があれば、返納しやすくなるか	・「返納しやすい」と「少し返納しやすい」が6割
⑭自分以外が運転する自家用車での移動状況	・「自由に送迎してもらえる」が4割強、「車を使用できない」が1割強
⑮電話の所持状況	・「スマートフォンを保有」が4割弱
日常的な外出について	
⑯公共交通の利用	・「利用あり」は高速ペガサス号が3割強で、他は1割以下、頻度は「年に数回」がほとんど
⑰先週1週間の主な外出の目的・頻度	・「通勤」が3割強、「買物・飲食」が2割強 ・「通院」は週に1日、「買物・飲食」は週2日程度
⑱外出時の家を出る時間、帰宅した時間	・出発は「8時台」、帰宅は「17時台」が最も多く、平日の方が外出している人が多い
⑲外出時の行先	・「新ひだか町（静内地区）」が最も多い
⑳利用した交通手段	・「自家用車」が最も多い ・公共交通では「苫小牧～静内間（道南バス）」の利用が最も多い
㉑バスより少し高い運賃で、自宅と目的地を結ぶ公共交通が運行する場合、利用しても良い曜日はあるか	・どの曜日もほぼ同数
㉒実際に訪れた施設	・「イオン静内店」が最も多い。



質問	結果概要
今後の公共交通への要望等	
⑳③自家用車に頼らない生活を送るときの公共交通のあり方	・「バスとタクシーの中間」が4割弱
㉑④感染症拡大前と比べた公共交通の利用頻度	・「変わらない」が4割、「減った」が2割
㉒⑤感染症拡大によって外出頻度・交通手段が変わったか	・「外出そのものが減った」が7割
㉓⑥感染症収束後の公共交通利用を促進するための方策	・「格安で利用できるようにすべき」が最も多い
㉔⑦管内の路線バスの利用状況	・「現在利用していない」が6割、そのうち「今後は利用する」が3割 ・現在16～18歳が最も多く利用している
㉕⑧電話予約できる公共交通について	・「あれば利用すると思う」が5割弱
㉖⑨電話予約できる公共交通が市町村間を跨ぐ場合	・「200円であれば利用する」の回答割合が9割
㉗⑩路線バスの満足度	・「車両への乗り降りしやすさ」は満足度が7割弱 ・「便数」、「最終時刻」、「停留所の待合い環境」は不満が4割以上
㉘⑪今後の公共交通を維持するための方針	・「理解できる」が7割以上の項目は「税金による補填」「乗継ぎを含む運行」「長大路線の分割」 ・「理解できない」が5割以上の項目は「運賃の値上げ」「減便」
㉙⑫路線バスの支払い方法	・「現金」が3割（「利用していない」、「不明」を除くと7割）
㉚⑬定額で利用できる路線バスがあった場合	・「利用する」が2割強
㉛⑭施設利用サービス付きのパーク&バスライドを利用するか	・「利用する」が3割強
㉜⑮バス運転手として就業するための支援策	・「大型二種免許取得費の補助」が最も多い
㉝⑯公共交通にあると便利なサービス	・「乗継ぎのしやすさ」が最も多い



4.2 バス乗降調査

(1) 目的

路線バスの利用目的と運行実態に対する意見を把握することにより、地域公共交通の課題を抽出するため、管内を運行する路線バス乗降調査(カウント踏査及びヒアリング調査)を実施しました。

(2) 実施概要

調査の概要は以下のとおりです。

表 4-2 バス乗降調査の概要

バス路線名	運行事業者	調査方法	調査日
高速ペガサス号	道南バス	事業者提供	2022(令和4)年10月5日(水)
特急とまも号	JHB	乗降調査	2022(令和4)年9月28日(水)
高速えりも号	同上	事業者提供	2022(令和4)年 9月7・14・21・28日(水)平均
高速ひろおサンタ号	同上	同上	同上
苫小牧～静内間	道南バス	乗降調査	2022(令和4)年10月5日(水)
静内～浦河老人ホーム間	同上	同上	2022(令和4)年9月28日(水)
苫小牧～平取間	同上	同上	2022(令和4)年9月30日(金)
			2022(令和4)年11月7日(月):高校生※1
日高ターミナル～平取～静内間	同上	同上	2022(令和4)年9月30日(金)
			2022(令和4)年11月7日(月):高校生※1
静内～様似営業所間	JHB	同上	2022(令和4)年9月28日(水)
様似営業所～広尾間	同上	同上	同上
上野深～浦河老人ホーム間	同上	同上	同上
千栄線	日高町	同上	2022(令和4)年9月30日(金)
広富線	同上	同上	同上
豊郷線	同上	同上	2022(令和4)年9月30日(金)※2
新和太陽古岸線	新冠町	同上	2022(令和4)年9月27日(火)
美宇東川線	同上	同上	2022(令和4)年9月28日(水)
若園大富線	同上	同上	同上

※1: 9月30日は富川高校休校のため、11月7日に高校生のみを対象とした予備調査を実施した。

※2: バス会社への聞き取りにより富川高校生の乗降人数を調査した。



(3) 結果概要

カウント調査の結果、各路線の乗降者数は以下のとおりです。

表 4-3 乗降者数の状況

バス路線名	乗降者数
高速ペガサス号	124 人
特急とまも号	8 人
高速えりも号	27 人
高速ひろおサンタ号	9 人
苫小牧～静内間	401 人
静内～浦河老人ホーム間	79 人
苫小牧～平取間	49 人
(下段：補足調査)	5 人
日高ターミナル～平取～静内間	138 人
(下段：補足調査)	16 人
静内～様似営業所間	394 人
様似営業所～広尾間	32 人
上野深～浦河老人ホーム間	87 人
千栄線	6 人
広富線	14 人
豊郷線	2 人
新和太陽古岸線	6 人
美宇東川線	10 人
若園大富線	17 人
合 計	1,424 人

(4) バス乗降者数の総括

バス乗降調査の結果を総括すると、以下の 4 エリアにおいて路線バスによる移動が多い結果となりました。なお、ここでいう割合は、路線バス(高速バスを除く)の全利用者数に占める割合となります。

- ・浦河町内で 22.7%
- ・新ひだか町(静内地区)を中心とする日高町(門別地区)、新ひだか町(三石地区)、新冠町との間で、22.4%
- ・日高町(門別地区)を中心とする新ひだか町(静内地区)、苫小牧市、むかわ町、平取町との間で 20.0%
- ・浦河町と様似町との間で 9.3% 計 74.4%



【バス乗降調査総括図及びOD表】

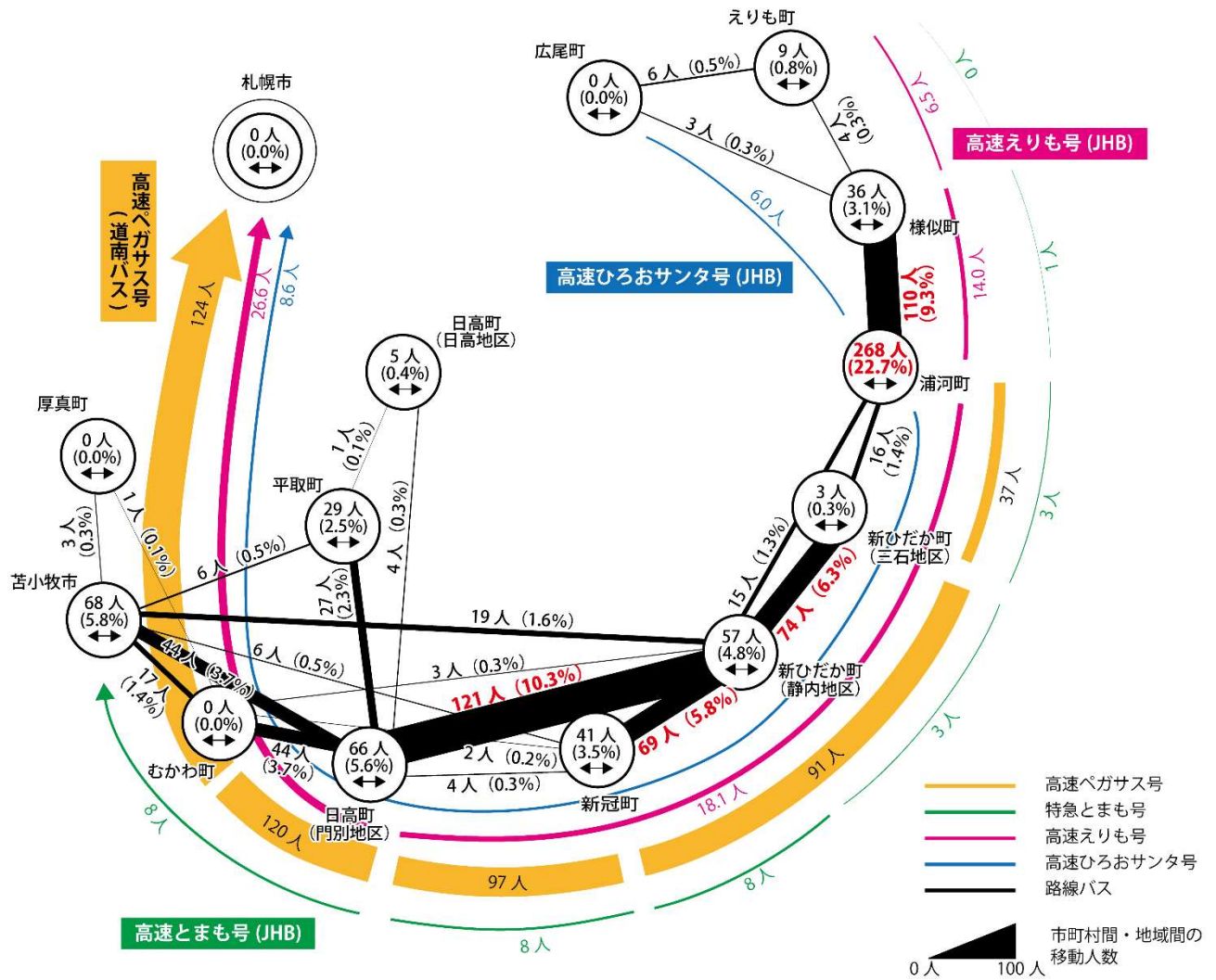


図 4-2 バス乗降調査総括図

表 4-4 バス乗降調査総括 OD 表

D(降車)	D(降車)													乗車人数	乗降客数
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
O(乗車)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	乗車人数	乗降客数
	1 苫小牧市	68	3	7	21	4	0	4	10	0	0	0	0	0	117
2 厚真町	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
3 むかわ町	10	0	0	20	0	0	1	1	0	0	0	0	0	32	67
4 日高町(門別地区)	23	0	24	66	17	3	1	59	0	0	0	0	0	193	375
5 平取町	2	0	0	10	29	1	0	0	0	0	0	0	0	42	92
6 日高町(日高地区)	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	14
7 新冠町	2	0	1	3	0	0	41	21	0	0	0	0	0	68	163
8 新ひだか町(静内地区)	9	0	2	62	0	0	48	57	40	9	0	0	0	227	415
9 新ひだか町(三石地区)	0	0	0	0	0	0	0	34	3	7	0	0	0	44	96
10 浦河町	0	0	0	0	0	0	0	6	9	268	68	0	0	351	677
11 様似町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	36	1	3	82	189
12 えりも町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9	4	16	28	28
13 広尾町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	9
乗車人数	114	3	35	182	50	9	95	188	52	326	107	12	7	1,180	2,360

(5) ヒアリング調査

① ヒアリングの概要

バス乗降調査時に、バスの車内において乗客を対象に利用頻度や目的のヒアリングを行いました。

ヒアリングを行った路線ごとの人数は下表のとおりです。

表 4-5 ヒアリング人数

バス路線名	ヒアリング人数	調査日
特急とまも号	7人	2022(令和4)年9月28日(水)
苫小牧～静内間	274人	2022(令和4)年10月5日(水)
静内～浦河老人ホーム間	61人	2022(令和4)年9月28日(水)
苫小牧～平取間	30人	2022(令和4)年9月30日(金)
日高ターミナル～平取～静内間	87人	2022(令和4)年11月7日(月):高校生
静内～様似営業所間	236人	2022(令和4)年9月30日(金)
様似営業所～広尾間	53人	同上
上野深～浦河老人ホーム間	45人	2022(令和4)年9月28日(水)
千栄線	6人	同上
広富線	10人	同上
豊郷線	0人	2022(令和4)年9月30日(金)
新和太陽古岸線	4人	同上
美宇東川線	5人	2022(令和4)年9月30日(金)
若園大富線	9人	2022(令和4)年9月27日(火)
合計	827人	



② ヒアリングの結果概要

質問	結果概要
基本属性	
居住地域	<ul style="list-style-type: none"> 沿線町民がバスを利用 浦河町内や日高町、新冠町内のみを走る路線はそれぞれの町民が利用
最終目的地	<ul style="list-style-type: none"> 特急とまも号、苫小牧～平取間はその他（苫小牧市）が最も多い
年齢層	<ul style="list-style-type: none"> 道南バス及びJHBが運行する高速バスを除く路線バスの利用者は3割～5割が10代
行き・帰りの利用	<ul style="list-style-type: none"> 民間バス路線は7～8割が行き・帰りとも利用、対して町営バスは3～5割
公共交通の利用頻度	<ul style="list-style-type: none"> 高速バスは週に2、3回から年に数回、民間バス路線はほぼ毎日と週に4、5日が3割～7割 町営バスはほぼ毎日から月に数回の利用
外出の目的	<ul style="list-style-type: none"> 高速バスは通院・治療目的が4割、民間路線バスは通勤目的が数パーセント～4割、通学目的が2割～4割 町営バスは通勤目的が3割、通学目的が4割程度、通院・治療は5割
アクセスした公共・公益施設	<ul style="list-style-type: none"> 北海道静内高校が最も多い
乗継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> 他の路線に「乗継ぐ」は特急とまも号が4割、新和太陽古岸線が3割、苫小牧～平取間が2割 苫小牧～静内間のバスに乗り継ぐと答えた割合が最も多い
満足度	
特急とまも号	<ul style="list-style-type: none"> 「便数」の「不満、やや不満」が7割
苫小牧～静内間	<ul style="list-style-type: none"> 「便数」の「不満、やや不満」が4割
静内～浦河老人ホーム	<ul style="list-style-type: none"> 「便数」の「不満、やや不満」が2割
苫小牧～平取間	<ul style="list-style-type: none"> 「便数」の「不満、やや不満」が2割
日高ターミナル～平取～静内間	<ul style="list-style-type: none"> 「便数」の「不満、やや不満」が4割
静内～様似間	<ul style="list-style-type: none"> 「便数」の「不満、やや不満」が2割
様似～広尾間	<ul style="list-style-type: none"> 「便数」と「最終時刻」の「不満、やや不満」が1割
上野深～浦河老人ホーム間	<ul style="list-style-type: none"> 「便数」の「不満、やや不満」が2割
町営バス広富線	<ul style="list-style-type: none"> 「便数」、「始発時刻」、「待合い環境バスルートのわかりやすさ」の「やや不満」が1割
町営バス新和太陽古岸線	<ul style="list-style-type: none"> 「バスルートのわかりやすさ」の「不満」3割
町営バス美宇東川線	<ul style="list-style-type: none"> 「停留所の待合い環境」の「不満」が2割
新冠町営バス若園大富線	<ul style="list-style-type: none"> 「自宅と停留所間の距離」の「不満、やや不満」が2割



4.3 来訪者 Web アンケート調査

(1) 実施概要

当地域を訪れた方を対象に、来訪の目的や頻度等の実態を把握するため、Web アンケートを行いました。

表 4-6 来訪者 web アンケート調査の実施概要

対象	道内・道外からの来訪者各 250 名
配布・回収方法	NTT ドコモ契約者へのアンケート配信

(2) 結果概要

質問	結果概要
【基本属性】	
①居住地域	・道内は「札幌市」と「苫小牧市」、道外は「東京都」が最も多い
②性別	・「男性」は道内が 6 割弱、道外が 7 割強
③年齢	・道内は「45～49 歳」と「60～64 歳」が 2 割弱、道外は「55～59 歳」が 2 割弱
④職業	・道内、道外どちらも「会社員」が 3 割前後
【来訪実態】	
⑤直近の来訪月	・道内、道外どちらも「8 月」が最も多い
⑥来訪目的	・道内は「観光」が 6 割弱、道外は「観光」が 8 割強
⑦来訪した市町村	・道内は新ひだか町、道外はえりも町が最も多い
⑧過去 5 年間で来訪した回数	・道内は 10 回以上が 3 割弱 ・道外は 1 回が 6 割弱
【公共交通のニーズ把握】	
⑨来訪時の利用交通手段	・道内が自家用車、道外はレンタカー及び自家用車が多い
⑩公共交通を利用しない理由	・「自家用車が便利だから」が道内は 8 割弱、道外は 7 割弱

